

古賀市男女共同参画輝きKogaネットたより

# ぴ か ☆ イ チ

Vol.03-①

2019年9月発行

第1回男女共同参画セミナーを開催しました！

講演

【親子で学ぶ性教育】

「からだについていっしょに学ぼう! + 子どももわかるジェンダーの話」

講師：佐藤繭子さん（助産師、福岡県立大学大学院看護学研究科助産学領域助教）

「子どもの身を守るためには、まず適切な知識を」という思いから、親向け性教育、子ども向け性教育のセミナーを様々な場所で開催している佐藤繭子さんに、昨年に引き続きご講演いただきました。昨年は「親だからこそ知っておきたい子どもへの性の伝え方」、今年は子どもへの伝え方のお手本として、子どもに向けてお話しいただきました。

【講師のお話し】

性について子どもに伝えるのは難しい」「性被害にあわないようにしたいけど、どう伝えていいのかわからない」と話されるご両親の声よく聞きます。そのように感じるのには理由があります。私たちも親や周囲から教えてもらわなかったからです。

それでも保護者から話すことは大切です。**性教育は子どもの自己肯定感を育み、適切な知識は性被害を防ぐのに役に立ちます。**



## ■ からだのしくみについて伝える

- 男の人と女の人の体の違い
- 赤ちゃんはどうやって生まれてくるのか
- 赤ちゃんはお母さんのおなかの中でどういうふうに育つのか
- プライベートゾーンについて
- 生まれる奇跡と生きている奇跡

## ■ 体験

- 赤ちゃん（人形）を抱っこ
- 胎児人形の大きさや重さを知る
- 心音を聴く
- 妊婦ジャケットをつけてみる
- 産道から生まれる体験



生まれるって楽しい♪



小さいね～



重いー

裏面へつづく



古賀市男女共同参画輝きKogaネットたより

# ぴ か ☆ イ チ

Vol.03-②

2019年9月発行

第1回男女共同参画セミナーを開催しました！

講演

【親子で学ぶ性教育】

「からだについていっしょに学ぼう! + 子どももわかるジェンダーの話」

講師：佐藤繭子さん（助産師、福岡県立大学大学院看護学研究科助産学領域助教）

【セミナーの感想】

今回は、命の誕生を中心としたお話と、実習でも使われる赤ちゃん人形や、フェルトでできた月数ごとの大きさの胎児人形に触れる体験などもあった。なかでも子宮に見立てた大きな袋に入り、そこからお母さんの声掛けで出てくるといふ“生まれる体験”は、楽しいだけでなく子どもと親の愛情がさらに深まっているように思えた。

また、イラストを使って「これは、男の子（が使うもの）？女の子（が使うもの）？」という問いかけから、思い込みやイメージによる決めつけが、LGBTなどの理解を阻むきっかけになっていること、個人の興味・関心の幅を狭めていることなどを、子どもたちに解りやすくお話された。

「どんな格好をしていても、その人はその人である。人を好きになるのはとても素敵なこと（男同士でも、女同士でも）」という言葉は、心に残った。自分の体を知ること、命はどこから来るのか知ること、それが、自尊感情やお互いの理解へと繋がり、寛容で生きやすい社会へも繋がるのではないかと感じた。

【古賀市男女共同参画輝きKogaネット  
飯尾 みどり】

佐藤さんおすすめの本



## 参加者感想

保護者

正しい性の知識を子どもに伝えることは大切だと思いました。

子ども

たくさんのことを、  
しれてうれしかった。

まだ性教育について、子どもに話すことはなかったのですが、しっかり考えて話す機会をつくりたいと思います。

赤ちゃんがおもったより  
おもくて、びっくりしました。

日頃親子で話ができない内容を  
親子で聞くことができよかったです。  
今後も少しずつでも話していけたらと思います。

生まれるたいけんが  
たのしかった。

自分の体の大切さが  
わかりました。